

令和 8 年度 学校マネジメントシート

学校名(津商業高等学校)

1 目指す姿

(1)目指す学校の姿		「全力津商」の精神のもと、商業の見方や考え方を重視した学校教育活動を通して「知識・技術」「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」を育み、地域社会に貢献できる人材を育成する学校
(2)	育みたい資質・能力(育みたい生徒の姿)	・「知識・技術」「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」を身につけるために努力する生徒 ・周囲とコミュニケーションを図り、自己肯定感を高めることができる生徒 ・高い志を持ち、失敗をおそれずに果敢に挑戦する生徒 ・仲間と協働し、新たな課題の発見と解決に積極的に取り組む生徒 ・人権感覚にあふれ、規範意識と倫理観を大切にする人間性豊かな生徒
	ありたい教職員の姿	・法令を遵守するとともに、授業力等の向上に向けて、自己研鑽に励む教職員 ・目指す学校の姿、育みたい生徒の姿の実現に向けて、校内外の多様な人材と連携を図り、それぞれの専門性を生かして力を発揮することができる教職員集団

2 現状認識

(1)学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待		<生徒> 学習活動や資格取得、部活動に励み、充実した高校生活を送ることを通して学ぶ喜びを実感するとともに、自らの希望進路を実現する。 <保護者> 子どもが安全・安心な学校生活を送るとともに、学力向上や人間力の育成及び希望進路の実現を期待している。 <地域> 地域の活性化に資する人材を育成するとともに、地域と学校が協働して、社会に貢献する意欲や態度をともに育成する。				
(2)連携する相手と連携するうえでの要望・期待		<table><tr><th>連携する相手からの要望・期待</th><th>連携する相手への要望・期待</th></tr><tr><td> <家庭> 学校情報の提供 学校行事等への参加機会の増加 <中学校> 卒業生の様子、入試情報などの共有 <地域企業・事業所> 地域産業の担い手としての人材の育成 </td><td> <家庭> 本校教育活動への理解と連携協力 <中学校> 基礎学力定着の促進と個々の生徒に対して効果的な指導を進めるための情報共有 <地域企業・事業所> 生徒の生きた学習の場(実学)の確保に向けての連携協力 </td></tr></table>	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待	<家庭> 学校情報の提供 学校行事等への参加機会の増加 <中学校> 卒業生の様子、入試情報などの共有 <地域企業・事業所> 地域産業の担い手としての人材の育成	<家庭> 本校教育活動への理解と連携協力 <中学校> 基礎学力定着の促進と個々の生徒に対して効果的な指導を進めるための情報共有 <地域企業・事業所> 生徒の生きた学習の場(実学)の確保に向けての連携協力
連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待					
<家庭> 学校情報の提供 学校行事等への参加機会の増加 <中学校> 卒業生の様子、入試情報などの共有 <地域企業・事業所> 地域産業の担い手としての人材の育成	<家庭> 本校教育活動への理解と連携協力 <中学校> 基礎学力定着の促進と個々の生徒に対して効果的な指導を進めるための情報共有 <地域企業・事業所> 生徒の生きた学習の場(実学)の確保に向けての連携協力					
(3)前年度の学校関係者評価など		・AI・DX人材育成は今後ますます重要になるが、情報モラル教育を強化すべきであり、SNS・ネット犯罪防止の教育が必要不可欠である。 ・避難所指定に伴う防災連携をはじめ、学校のPRのために積極的に地域へ情報発信をしていくことが重要である。				
(4)現状と課題	教育活動	・資格取得や部活動への積極的な参加の意思を持った生徒が多く、就職と進学の両面の充実に向け、計画的・系統的なキャリア教育を推進する。 ・生徒の自主・自立を促すため、生徒が学校生活や規則・マナーについて主体的に考える機会を増やす。 ・文武両道の理念のもと、学習端末を有効に活用した授業実践や学習方法の研究を進め、生徒や保護者の期待に応える。				

	学校運営等	・商業高校の特色ある教育活動として、地元企業や商工会議所等と連携を図り、教育活動の充実改善に取り組んでいるが、その魅力を地域や中学生にわかりやすく発信する。 ・働き方改革に関する取組について、業務のデジタル化を推進するとともに、前例踏襲を見直して業務負担の軽減を図る。
--	-------	---

3 中長期的な重点目標

教育活動 【カリキュラム・ポリシー】	・つきたい力の育成に向け、学習端末を効果的に活用して教育活動の充実を図るとともに、生徒が主体的に考え、チャレンジする機会を積極的につくる。 ・商業の専門知識や技術の習得の成果として資格取得を重視するとともに、産業界や地域と連携し、ビジネスの視点を重視した探究活動など実社会との繋がりの中で主体性や協働性を育む取組を推進する。 ・部活動に力を入れ、生徒の自己肯定感や自己有用感を育み、卒業後すぐに社会人として活躍できる即戦力となる人材育成を推進し、地域社会の持続的な発展に貢献する商業高校づくりを進める。
学校運営等	・本校の教育理念や教育内容、教育実践内容等の商業教育の魅力を、中学校をはじめとして広く地域社会にPRし、商業高校の存在価値について広く理解を得る。 ・保護者や地域社会からの信頼と協力を得るため、教職員の授業研修やコンプライアンス研修等を通して信頼される学校づくりを進める。 ・働き方改革に向けて、組織全体で業務の効率化を進めることで、時間外労働時間を減らして働きやすい職場環境をつくる。

4 求める生徒像

入学時に期待される生徒の姿 【アドミッション・ポリシー】	・「商業」や「情報」の学習に興味・関心と意欲があり、資格取得にも積極的に取り組める生徒 ・スポーツ活動や文化活動または生徒会活動等に意欲を持って取り組む姿勢を有する生徒
---------------------------------	---

5 本年度の行動計画と評価

(1)教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
学習指導の充実	(1)わかりやすい授業づくり 学習端末を積極的に活用するとともに、個別最適な学びと協働的で深い学びを推進し、生徒にとってわかりやすい授業を実践する。 【活動指標】 ・教職員 AI・ICT 活用研修 2 回 【成果指標】県教育委員会ウェルビーイングについてのアンケート調査 ・【主体的な学び】分からないことや詳しく知りたいことがあったときに自分で学び方を考え、工夫することができる生徒の割合 80%以上(新規) (2)つきたい力の育成 実社会との繋がりの中で主体性や協働性を育む取組等		◎

	を通して、生徒につけたい力を育成する。 【活動指標】 ・地元企業・行政等と連携した学習の発信（10 回以上） 【成果指標】県教育委員会ウェルビーイングについてのアンケート調査 ・【協働性】授業や学校生活で周りの人の考えを大切にしてお互い協力しながら課題の解決に取り組んでいる生徒の割合 80%以上(新規) ・【社会貢献意識】地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う生徒の割合 80%以上(新規) 年度末アンケート調査(生徒) ・「知識・技術」「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」が高まったと思う生徒の割合 85%以上 (R7:93% 知識・技術 95%/前に踏み出す力 89%/考え抜く力 92%/チームで働く力:95%)		
学校全体で取り組むキャリア教育の充実	(1)進路指導の充実 望ましい進路選択に向け、生徒のキャリア発達を促す。 【活動指標】 ・進路ガイダンスの充実(1 年 3 回、2 年 4 回、3 年 5 回) ・インターンシップの実施(2 年生) 【成果指標】県教育委員会ウェルビーイングについてのアンケート調査 ・【自己実現】将来の夢や目標を持っている 90%以上(新規) (2)生徒指導の充実 社会人として必要な規範意識やマナーについて、3年間を見通した効果的な指導を行う。 【活動指標】 ・自己肯定感を涵養する取組(各学年、保健部) 【成果指標】県教育委員会ウェルビーイングについてのアンケート調査 ・【自己肯定感】自分にはよいところがあると思う生徒の割合 90%以上(新規)		
安心・安全な学校づくり	(1)人権教育の充実 人権感覚あふれる学校づくりに取り組む。 【活動指標】 ・人権フィールドワーク(1 年生)の実施 【成果指標】県教育委員会ウェルビーイングについてのアンケート調査 ・【利他性】人が困っているときは、進んで助けている生徒の割合 90%以上(新規) 年度末アンケート(生徒) ・人権尊重の実践行動ができる意欲・態度を育むことができたと回答する生徒の割合 90%以上 (R7:95%) (2)命を大切にせる教育の充実 いじめ防止や命を大切にせる教育を推進し、生徒の発達段階に応じたきめ細かな支援を行う。 【活動指標】 ・いじめの未然防止、早期対応、組織的対応 ・学校生活に関するアンケート(年 3 回)		◎

	【成果指標】県教育委員会ウェルビーイングについてのアンケート調査 ・【利他性】いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う生徒の割合 90%以上(新規) ・【サポートを受けられる環境】困りごとや不安がある時に教職員や学校にいる大人にいつでも相談できる生徒の割合 90%以上(新規) (3)危機管理意識の向上 熱中症対策、防災対策等、生徒自身が危険回避の行動が取れるように支援する。 【活動指標】 ・保健だよりの発信(11回) ・安否確認訓練・防災訓練(2回以上) 【成果指標】年度末アンケート調査(生徒) ・災害発生時に求められる具体的な行動を理解し、適切に行動するための見通しを持てるようになった生徒の割合 80%以上(新規)		
改善課題			
(年度末に記載)			

(2)学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
資質向上の取組	(1)教職員の資質向上 エピペン・AED、特別支援教育、人権教育に係る研修を実施する。 【活動指標】 ・校内研修会の実施(各1回以上) 【成果指標】年度末アンケート調査(教職員) ・学校で果たすべき役割などを踏まえ、各分野の資質向上に主体的に取り組んだ教職員の割合 100%(新規) (2)信頼される教職員集団への取組 事例の共有や意見交換などを通して、教職員のコンプライアンス意識の向上に努める。 【活動指標】 ・コンプライアンス意識調査(2回) ・コンプライアンス研修(2回) 【成果指標】年度末アンケート調査(教職員) ・コンプライアンスを意識し、適切な判断と行動を実践する教職員の割合 100%(新規)		◎
情報提供による信頼の構築	(1)授業、学校行事等の公開 生徒の様子や商業高校の学習内容について、保護者や中学生、地域に公開し、理解を深めてもらう。		

	【活動指標】 ・授業や学校行事の公開(3 回以上) 【成果指標】 ・学校説明会のアンケートで満足であると回答した中学生の割合 90%以上 (R7:94%) (2)教育活動の成果等を情報発信 商業に関する特色ある教育活動や部活動の成果等に関する情報を積極的に発信する。 【活動指標】 ・Web 等での情報発信 100 回以上 【成果指標】 年度末アンケート調査(保護者) ・学校からの情報発信を通じて、学校の教育活動や日常の様子を理解できていると感じる保護者の割合 85%以上 (R7:84% R6:80%)		◎
組織運営・働きやすい職場環境づくり	(1)働き方改革の推進 前例踏襲を見直して業務の軽減を図り、「三重県立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」に基づき、時間外労働時間の削減に取り組む。 【活動指標】自校の課題に応じた目標 ① 業務効率化による時間創出のための目標 (量に係る取組) ・【部活動の改善】複数顧問制の導入率 100% ・【校務DXの推進】調査・アンケートの電子化 100% ・【会議等の見直し】職員会議・各種会議の資料をTeamsで共有、オンライン会議の拡充 ・【環境整備】相談しやすい職場環境の整備、教育活動に専念できる環境の構築 ② 健康確保・働きがいを向上するための目標 (質に係る取組) ・【休暇取得の促進】担当者不在時の簡易な業務マニュアルの整備 整備率 100% ・【メンタルヘルスケアの推進】高ストレス者に対する産業医等による面談実施率 100% ・【働きがいを実感できる環境の充実】職員が希望する外部研修への参加 各教科で年間1 回以上 【成果指標】 県の実施計画に基づく目標 ① 業務量の管理に関する目標(量の目標) ・1 か月の時間外在校等時間が 80 時間を超える教職員 0 人(R7:のべ 42 人 R6:のべ 48 人) ・1 人当たりの月平均時間外在校等時間 18 時間以下 (R7:26.5 時間 R6:25.7 時間) ② 健康確保及び働きがいに関する目標(質の目標) ・高ストレス者と特定された教職員の割合 9.3%未満 ・年次有給休暇の平均取得日数 年間 17 日以上 (R7:15.8 日 R6:16.9 日) (2)学校運営の改善 諸課題の解決に向けて、教職員や関係者の声を反映させながら、学校運営の改善を図る。 【活動指標】 ・学校行事や部活動、会議や出張等の精選 【成果指標】年度末アンケート調査(教職員)		◎

	・働きやすい職場環境だと感じる教職員の割合 100% (R7:85% R6:71%)		
改善課題			
(年度末に記載)			

6 学校関係者評価

明らかになった 改善課題と次への 取組方向	(年度末に記載)
-----------------------------	----------

7 次年度に向けた改善策

教育活動について の改善策	(年度末に記載)
学校運営について の改善策	(年度末に記載)